

平成28年度
埼玉県博物館連絡協議会
総会

資 料

平成28年4月22日（金）
埼玉県立歴史と民俗の博物館

平成28年度 埼玉県博物館連絡協議会 総会 次第

日 時 : 平成28年4月22日(金) 13:00~15:20
会 場 : 埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂

1 第1部 (13:00~13:15)

開 会 議 事

- (1) 埼玉県博物館連絡協議会会則の改正について 【資料1】
- (2) 平成28・29年度役員選出について 【資料2】

2 第2部 (13:50~15:20)

開 会

会長、副会長、監事の承認

議長選出

議 事

- (1) 緊急時相互支援検討委員会設置要綱の改正案について 【資料3】
- (2) 平成27年度 事業報告・決算報告・監査報告について 【資料4・5】
- (3) 平成28年度 事業計画(案)・予算(案)について 【資料6・7】
- (4) その他

報 告

- (1) 埼玉県博物館連絡協議会災害対策準備金管理規程について 【資料8】
- (2) 新規入会館について
- (3) 新チーフ館について 【資料9】
- (4) 各地域の活動報告について 【資料10】
- (5) 各委員会の活動報告について 【資料11】
- (6) 各委員会委員について 【資料12】
- (7) その他

閉 会

埼玉県博物館連絡協議会会則（改正案）

（名称）

第一条 本会は、埼玉県博物館連絡協議会と称する。

（所在）

第二条 本会は、事務局を会長の所属する博物館（類似の施設を含む。以下同じ。）に置く。

（目的）

第三条 本会は、各博物館相互の連携を緊密にし、博物館事業の振興を図ることを目的とする。

（事業）

第四条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 地域別連絡協議会の開催
- 二 研究会・研修会・視察などの開催
- 三 情報の交換
- 四 会誌・研究物の刊行
- 五 災害時における相互支援活動（追加）
- 六 その他必要な事業

（会員及び会費）

第五条 本会は、埼玉県内の博物館を会員として組織し、会員は、次項に定める会費を毎年度納入するものとする。

2 会費は、毎年度4月1日現在のそれぞれの博物館の職員数に応じて、次の各号に定める額とする。ただし、この規定により難しい場合は、一会員10,000円とする。

- 一 1人から 5人まで 10,000円
- 二 6人から10人まで 14,000円
- 三 11人以上 21,000円

（役員）

第六条 本会に、次の役員を置く。

- 一 会長 1名
- 二 副会長 2名
- 三 理事 若干名
- 四 監事 2名

（役員の仕事）

第七条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- 一 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 二 副会長は、会長を助け、会長に事故あるときは、その仕事を代行する。
- 三 理事は、会長及び副会長とともに役員会を組織し、会務を整理する。
- 四 監事は、会計を監査する。

（役員を選出）

第八条 役員を選出は、次のとおりとする。

- 一 会長及び副会長は、理事が互選し、総会で承認する。
- ~~二 理事は、県立、市町村立、法人及び私立からそれぞれ選出し、総会で承認する。~~
- 二 理事は、南部、東・北部、西部、秩父の各地域の会員からそれぞれ選出し、総会で承認する。（修正）
- 三 監事は、役員会で推薦し、総会で承認する。

（役員の仕事）

第九条 役員の仕事は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(顧問)

第十条 本会に、顧問を置くことができる。ただし、任期は2年とする。

(会議)

第十一条 本会の会議は、総会及び役員会とする。また、必要に応じて委員会等を置くことができる。

2 会議は、会員の2分の1以上の出席（委任状を含む）をもって成立する。

3 議事は、出席会員の過半数により決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会)

第十二条 総会は、年1回開催するものとする。ただし、会長が必要と認めたとき又は会員の3分の1以上の要求があったときは、臨時に総会を開くことができる。

2 総会は、次の事項を審議する。

一 会則の改正

二 事業計画及び予算

三 事業報告及び決算

四 役員を選任

五 その他重要な事項

(役員会)

第十三条 役員会は、会長が必要と認めたときに開き、次の事項を審議する。

一 総会への提案事項

二 その他必要な事項

(表彰等)

第十四条 本会（加盟の館及び園を含む。）の振興に著しい功績があった場合又は本会の事業推進に積極的な協力があった場合は、その都度、役員会の承認を得て、これを表彰し、又は感謝の意を表することができる。

(経費)

第十五条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第十六条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 総会前の事業及び予算の必要な範囲の執行については、会長の専決により行うことができる。

(事務局)

第十七条 本会の会務を処理するため、事務局に次の職員を置く。

一 事務局長 1名

二 事務局次長 1名

三 幹事 若干名

(細則)

第十八条 この会則に定めるもののほか、本会の運営に必要な事項は別に定める。

付 則

この会則は、昭和49年10月30日から施行する。

平成7年4月28日一部改正

平成11年4月28日一部改正

平成17年5月19日一部改正

平成18年5月31日一部改正

平成26年4月24日一部改正

平成28年4月 日一部改正

【資料2】

平成28・29年度の役員（案）について

- 南 部 埼玉県立歴史と民俗の博物館（県立・再任）
- 南 部 川口市立アートギャラリー・アトリア（市立・再任）
- 南 部 学校給食歴史館（公財・再任）
- 東・北部 久喜市立郷土資料館（市立）
- 東・北部 埼玉県立さきたま史跡の博物館（県立）
- 西 部 川越市立美術館（市立）
- 西 部 狭山市立博物館（市立）
- 西 部 滑川町エコミュージアムセンター（町立）
- 西 部 毛呂山町歴史民俗資料館（町立）
- 秩 父 横瀬町歴史民俗資料館（町立）

【資料3】

埼玉県博物館連絡協議会緊急時相互支援検討委員会設置要綱（改正案）

1 名称

この委員会は、埼玉県博物館連絡協議会緊急時相互支援検討委員会（以下「委員会」という）と称する。

2 設置目的

委員会は、埼玉県博物館連絡協議会（以下「協議会」という）加盟館園等、県内博物館・資料館施設において、災害等により所蔵資料及び施設等に影響が及ぶような被害があった場合、速やかに資料の救済・保管（文化財レスキュー）を行うため、加盟館園相互の協力・支援体制を整備することを目的とする。

3 運営体制

委員会は協議会会長の承認を得て運営し、検討結果等は協議会総会及び役員会で報告する。

4 組織構成

委員会は各ブロックから選出された委員及び協議会事務局長で構成する。

委員長は協議会事務局長をもってあて、委員会を統括する。委員会は委員長が招集し、必要に応じて他機関等からの協力を得ることができる。

5 任期

委員の任期は2年とするが、再任することができる。

6 活動内容

(1) 災害等緊急時における、連絡網の整備

(2) 災害等緊急時における、下記計画の検討と立案

① 地域別・分野別の相互支援計画

② 被災した博物館等資料の応急的レスキュー計画

③ 被災した博物館等資料の安定化・再生のための計画

④ 緊急用梱包資材等の備蓄計画

⑤ 災害等緊急時における職員派遣制度の検討

(3) 防災計画・危機対応マニュアルの整備

(4) 文化財レスキューに関わる研修・視察等の実施

(5) 他機関・組織及び大学等との連携

(6) 災害対策準備金の管理運営に関すること（追加）

(7) その他、文化財レスキューに関すること

7 協力・支援範囲

協議会加盟館園を基本とするが、加盟館園以外でも、所蔵資料の保存・管理に危険が生じた時、あるいは要請があった場合には、委員会で協議の上、加盟館園と同様の措置を講じることができる。

8 その他

本要綱に定めるもののほか、必要な事項については、会長の承認を得て委員会が定める。

(施行)

平成25年4月25日

平成28年4月 日一部改正

平成27年度 事業報告

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月23日(木) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成26年度事業報告・決算報告 ・平成27年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認 ・その他
	3月23日(水) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成27年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成28年度事業計画(案)・予算(案)の審議 ・災害対策準備金管理規程(案)の審議・承認
総会	4月23日(木)(55人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成26年度事業報告・決算報告 ・平成27年事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
地域チーフ館会議	6月23日(火)・2月26日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・新規事業の内容について
研究会	7月18日(土)(21人) 坂戸市城西大学水田美術館	・講演「水田コレクションの浮世絵」 講師：浅野 秀剛氏(大和文華館館長)
	11月20日(金)(47人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・講演「観光資源としての博物館の可能性と課題」 講師：羽生 冬佳氏(立教大学観光学部教授)
資料保存研修会 (文化財レスキュー・防災研修会)	2月18日(木)(46人) ※文保協、埼玉協との共催 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・講義①「茨城県常総市の水害と文化財レスキュー」 講師：林 貴史氏(常総市行政文書保全指導員) ・講義②「被災資料レスキュー体験報告」 講師：横内 美穂氏「宮代町郷土資料館学芸員」
見学会	4月23日(木)(55人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・企画展「氷川神社と大宮公園」見学
	7月18日(土)(21人) 坂戸市城西大学水田美術館	・特別公開「すべて見せます！江戸風俗図巻」の見学
	11月20日(金)(47人) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「慈光寺」見学
県外研修会	10月1日(木)(21人) 江戸東京博物館	・講義「江戸東京博物館常設展示リニューアルについて」 講師：新田 太郎氏(江戸東京博物館 事業企画課長) ・常設展示の見学
地域会議	随時	・各地域チーフ館が主催運営
I T運営委員会	6月9日(火)・11月12日(木) 2月19日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・SNSの導入についてのアンケートの実施・分析 ・HPの情報更新および内容充実について
加盟館園職員名簿	6月15日(月)配布	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼玉博連加盟館マップ	8月28日(金)発行	・埼玉県博物館連絡協議会加盟各館園の所在地および概要を紹介したパンフレットを印刷、配布
緊急時相互支援 検討委員会	6月2日(火)・10月2日(金) 1月29日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・災害対策準備金管理規程について ・災害時ネットワークの構築等について

【資料5】

平成27年度 埼玉県博物館連絡協議会 決算報告(見込み)

1. 一般会計

(収入の部) (単位:円)(下段のくっちはH26年度)

項目	予算額	収入額	比較増減額	備考
会費	974,000 (974,000)	974,000 (974,000)	0 (0)	21,000 × 14 館 = 294,000 14,000 × 15 館 = 210,000 10,000 × 47 館 = 470,000 免除 × 0 館 = 0
参加費	0 (30,000)	0 (66,000)	0 (36,000)	
雑収入	123 (104)	150 (123)	27 (19)	預金利子 150
繰越金	733,985 (590,070)	733,985 (590,070)	0 (0)	平成26年度より繰越
計	1,708,108 (1,594,174)	1,708,135 (1,630,193)	27 (36,019)	

(支出の部) (単位:円)(下段のくっちはH26年度)

項目	予算額	支出額	執行残	備考
旅費	50,000 (20,000)	20,898 (940)	29,102 (19,060)	役員・委員等 旅費 20,898
事務費	104,000 (97,000)	78,544 (71,323)	25,456 (25,677)	通信運搬費 11,900 消耗品費 4,860 インターネット回線使用料 55,886 サーバーレンタル料 5,898
事業費	864,000 (888,000)	647,272 (785,413)	216,728 (102,587)	県外研修会費 1,344 地域別連絡協議会費 304,000 研究会費 1,620 緊急時相互支援検討委員会 0 埼玉連MAP印刷代金 340,308 講師謝金 30,108
報償費	90,000 (90,000)	30,108 (30,000)	59,892 (60,000)	災害対策準備金 100,000
繰出金	100,000 (0)	100,000 (0)	0 (0)	
予備費	500,108 (499,174)	22,140 (8,532)	477,968 (490,642)	埼玉連HP外付ハードディスク 22,140
計	1,708,108 (1,594,174)	898,962 (896,208)	809,146 (697,966)	

(収支の部) (単位:円)(下段のくっちはH26年度)

収入済額	1,708,135 (1,630,193)	
支出済額	898,962 (896,208)	
差引残額	809,173 (733,985)	(次年度へ繰り越し額)

2. 特別会計

(収入の部) (単位:円)(下段のくっちはH26年度)

項目	予算額	収入額	比較増減額	備考
繰入金	100,000 (0)	100,000 (0)	0 (0)	
繰越金	0 (0)	0 (0)	0 (0)	
計	100,000 (0)	100,000 (0)	0 (0)	

(支出の部) (単位:円)(下段のくっちはH26年度)

項目	予算額	支出額	執行残	備考
災害対策準備金	100,000 (0)	0 (0)	100,000 (0)	
計	100,000 (0)	0 (0)	100,000 (0)	

(収支の部) (単位:円)(下段のくっちはH26年度)

収入済額	100,000 (0)	
支出済額	0 (0)	
差引残額	100,000 (0)	(次年度へ繰越額)

監査報告

上記のとおり相違ありません

平成28年 4 月 12 日

行田市郷土博物館館長 萩原 康弘 (萩原) 印

(公財)埼玉県学校給食会理事長 板倉 克己 (板倉) 印

平成28年度 事業計画（案）

事業	日時・会場	事業内容
役員会	4月22日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・新役職の選定 ・平成27年度事業報告・決算報告 ・平成28年度事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
	3月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・平成28年度事業報告(案)・決算報告(案)の審議・承認 ・平成29年度事業計画(案)・予算(案)の審議 ・その他
総会	4月22日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・会則等の改正 ・新役員選出 ・平成27年度事業報告・決算報告 ・平成28年事業計画(案)・予算(案)の審議・承認
地域チーフ館会議	6月下旬・2月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・各地域の活動状況の報告と問題点について ・埼玉博連の加盟促進について
研究会	7月下旬 未定	・演題、講師未定
	11月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定
資料保存研修会 (文化財レスキュー・防災研修会)	2月中旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・演題、講師未定。文化財保護協会・埼玉県地域史料保存活用連絡協議会との共催予定。
見学会	4月22日(金) 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・企画展「蔵出し資料」見学
	7月下旬 新規加盟館園で調整	(前期研究会会場館の展示等にあわせて)
	11月下旬 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・特別展「徳川家康」見学
県外研修会	9月下旬	・会場未定(群馬方面)
地域会議	随時	・各地域チーフ館が主催運営
IT運営委員会	6月下旬、その他随時 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・埼玉県博物館連絡協議会ホームページの運営、ホームページ内容の充実化
加盟館園職員名簿	6月下旬発行	・加盟館園職員名簿のデジタルデータを作成し配布
埼玉博連加盟館マップ	8月下旬発行	・埼玉県博物館連絡協議会加盟各館園の所在地および概要を紹介したパンフレットを印刷、配布
埼玉博連シール作成	8月下旬配布	・埼玉博連のマークもしくはキャラクターのシールを作成配布(デザインは加盟館園から公募)
緊急時相互支援 検討委員会	6月上旬・2月中旬、その他随時 埼玉県立歴史と民俗の博物館	・災害時ネットワーク構築の検討 ・博物館資料情報の共有化

【資料7】

平成28年度 埼玉県博物館連絡協議会予算（案）

1. 一般会計

(収入の部)

(単位:円)

項目	H27予算額	H27決算見込	H28予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH27予算)
会費	974,000	974,000	994,000	20,000	21,000 × 14 館 = 294,000 (294,000) 14,000 × 15 館 = 210,000 (210,000) 10,000 × 49 館 = 490,000 (470,000)
参加費	0	0	0	0	(0)
雑収入	123	150	150	27	預金利子 (123)
繰越金	733,985	733,985	809,173	75,188	(733,985)
計	1,708,108	1,708,135	1,803,323	95,215	

(支出の部)

(単位:円)

項目	H27予算額	H27決算見込	H28予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH27予算)
旅費	50,000	20,898	50,000	0	役員・委員等 旅費 50,000 (50,000)
事務費	104,000	78,544	106,000	2,000	通信運搬費 20,000 (20,000) 消耗品費 20,000 (20,000) 電話回線使用料 56,000 (54,000) サーバーレンタル料 10,000 (10,000)
事業費	864,000	647,272	1,072,000	208,000	県外研修会費 100,000 (100,000) 地域別連絡協議会費 312,000 (304,000) 研究会費 10,000 (10,000) 緊急時相互支援検討委員会 50,000 (50,000) 新規事業費 200,000 (0) 広報イベント費 400,000 (400,000)
報償費	90,000	30,108	90,000	0	講師謝金 90,000 (90,000)
繰出金	100,000	100,000	100,000	0	災害対策準備金 100,000 (100,000)
予備費	500,108	22,140	385,323	△ 114,785	(500,108)
計	1,708,108	898,962	1,803,323	95,215	1,418,000 (1,708,108)

2. 特別会計

(収入の部)

項目	H27予算額	H27決算額	H28予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH27予算)
繰入金	100,000	100,000	100,000	0	(100,000)
繰越金	0	0	100,000	100,000	(0)
計	100,000	100,000	200,000	100,000	(100,000)

(支出の部)

項目	H27予算額	H27決算額	H28予算額	比較増減額	備考(右かっこ内はH27予算)
災害対策準備金	100,000	0	200,000	100,000	(100,000)

○事務局予算案の内容

・会費収入比較増減内訳				
本庄市立歴史民俗資料館	入会	10,000円	新規入会	
三郷市立郷土資料館	入会	10,000円	新規入会	
・地域別連絡協議会費		312,000円	【内訳】78館×4,000円	
・緊急時相互支援検討委員会		50,000円	【内訳】消耗品購入及び文化財レスキューに関する研修費	
・広報イベント費内訳				
埼玉博連加盟館マップ作成		400,000円	【内訳】78館×200部+予備400部=16000部(発送費込)	
・新規事業費				
埼玉博連キャラクターシール作成		200,000円	【内訳】78館×500枚+予備1000枚=40000枚	

【資料 8】

埼玉県博物館連絡協議会災害対策準備金管理規程

(目 的)

第1条 この規程は、埼玉県博物館連絡協議会が、災害時における埼玉県博物館連絡協議会加盟館園等の相互支援活動に資するため設置された埼玉県博物館連絡協議会災害対策準備金（以下「準備金」という。）の管理運営に関し必要な事項を定める。

(事 業)

第2条 この準備金は、次の各号に掲げる事業に充てる。

- 一 災害時における博物館等資料のレスキューに必要な情報収集および発信
- 二 災害時における博物館等資料のレスキューに必要な人材の派遣
- 三 災害時における博物館等資料のレスキューに必要な資材の提供
- 四 その他特に必要と認められる事業

(管理運営)

第3条 準備金の管理運営に関する必要な事項の協議は、埼玉県博物館連絡協議会緊急時相互支援検討委員会（以下「相互支援検討委員会」という。）が行う。

2 相互支援検討委員会は、次の事項を協議する。

- 一 準備金の事業に関すること。
- 二 準備金の予算及び決算に関すること。
- 三 その他準備金の管理運営に関すること。

(積 立)

第4条 準備金として積み立てる金額は、毎年度の一般会計収支予算で定める。

(管 理)

第5条 準備金に属する現金は、金融機関への預貯金により保管しなければならない。

(事 務)

第6条 準備金に関する事務は、埼玉県博物館連絡協議会事務局において処理する。

(細 則)

第7条 この規程に定めるものを除くほか、準備金の管理運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規定は、平成28年3月23日から適用する。

【資料 9】

平成 28. 29 年度の地域チーフ館について

南 部 埼玉県立文書館（県立）

東・北部 草加市歴史民俗資料館（市立）

西 部 飯能市郷土館（市立・27～28年度）

秩 父 埼玉県立自然の博物館（県立・再任）

平成 27 年度 南部地域 活動報告

(チーフ館：県立近代美術館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
なし			

2 活動・事業等

名称	概要
第 1 回研修会	<p>1 開催日 平成 27 年 12 月 2 日 (水)</p> <p>2 会場 埼玉県立近代美術館</p> <p>3 内容 ・講演「企画展(旅と芸術-発見・驚異・夢想)について」 講師：埼玉県立近代美術館 平野 到主任学芸員 ・企画展(旅と芸術-発見・驚異・夢想) 観覧</p> <p>第 1 回の研修会は、埼玉大学と当館が共同で開催する講座への参加という形での開催とした。</p>
第 2 回研修会	<p>1 開催日 平成 28 年 2 月 17 日 (水)</p> <p>2 会場 東京国立博物館(東京都台東区上野公園)</p> <p>3 内容 ・講話「東京国立博物館のボランティア活動について」 講師：東京国立博物館ボランティア室 鈴木みどり室長 ・特別展(始皇帝と大兵馬俑) 観覧</p> <p>第 2 回の研修会は、東京国立博物館を訪れ、同館のボランティア活動の先進的な取り組み状況や課題などについて説明を受けた。</p>

3 その他特記すべき事項

なし

【資料 10～2】

平成 27 年度東・北部地域 活動報告

(チーフ館：埼玉県立さきたま史跡の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
総会	5月26日(火)	①平成26年度事業報告・決算報告 ②平成27年度事業計画・予算案審議 ③ブロック加盟館園事業「スタンプラリー」について ④各加盟館園事業計画 ⑤行田市郷土博物館収蔵品展「忍藩主の書画・書状」見学	行田市郷土博物館
加盟館園会議	11月12日(木)	①「スタンプラリー」実施結果について ②平成28年度「スタンプラリー」について ③緊急時相互支援検討委員報告 ④埼玉県立さきたま史跡の博物館企画展「古墳の終焉と律令時代の幕開け」見学 (地域館園研修会)	埼玉県立さきたま史跡の博物館

2 活動・事業等

名称	概要	
東部・北部ミュージアムスタンプラリー	○7月19日～11月29日 スタンプラリー台紙を加盟各館で合計5000枚配布	地域ブロック各館
地域館園研修会	○11月12日(木)埼玉県立さきたま史跡の博物館企画展の見学 「企画展 古墳の終焉と律令時代の幕開け」	埼玉県立さきたま史跡の博物館

3 その他特記すべき事項

<p>11月の加盟館園会議では、平成28年度のスタンプラリーの進め方について、主に話し合いがもたれた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東・北のブロックのスタンプのしばりをなくしたため、スタンプラリー参加者の増加した館園と減少した館園が見られた。 ・今年度の繰越金を来年度のスタンプラリー事業の整備に充てる。
--

【資料 10～3】

【資料 10～4】

平成 27 年度 秩父地域 活動報告

(チーフ館：県立自然の博物館)

1 会議

名称	開催月日(曜日)	議題	備考(会場等)
第 1 回地域館会議	6 月 12 日 (金)	①平成 27 年度実施事業について ②埼玉県博物館連絡協議会加盟館マップについて	秩父美術館・ 佛教資料館
第 2 回地域館会議	2 月 18 日 (木)	①平成 27 年度実施事業について ②平成 28 年度事業計画について	自然の博物館

2 活動・事業等

名称	概要
秩父地域館マップ	秩父地域館 9 館を紹介したオリジナルマップを作製した。マップの表には各館の位置関係や周辺の施設等がわかるようなマップを、裏には各館の所在地、料金、休館情報に加え、簡単な紹介文を掲載した。各館に 200 部ずつと予備 200 部の合計 2000 部を色上質紙に白黒で印刷し、各館で配布した。 また、自然の博物館ホームページ上で、PDF ファイルをダウンロードできるようにした。

3 その他特記すべき事項

--

【資料 11～1】

平成 28 年 3 月 23 日

埼玉県博物館連絡協議会会長 様

埼玉県博物館連絡協議会
緊急時相互支援検討委員会
委員長 杉山 正司

平成 27 年度緊急時相互支援検討委員会の活動について

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1 委員会の実施日時

- 第 1 回 平成 27 年 6 月 2 日 (火) 14 時 30 分から 16 時まで
第 2 回 平成 27 年 10 月 2 日 (金) 14 時 30 分から 16 時まで
第 3 回 平成 28 年 1 月 29 日 (金) 14 時 30 分から 16 時まで

2 平成 27 年度の委員構成

委員長	県立歴史と民俗の博物館	杉山正司	埼玉県博物館連絡協議会事務局長
委員	県立文書館	前田芳江	南部地区
委員	県立平和資料館	加藤かな子	西部地区
委員	鉢形城歴史館館長	石塚三夫	北部地区
委員	宮代町郷土資料館主任兼学芸員	横内美穂	東部地区

事務局：歴史と民俗の博物館（企画担当、資料調査活用担当）

3 報告

(1) 緊急時相互支援事業案について

今年度設立された特別会計「災害対策準備金」についての管理方法について検討し「埼玉県博物館連絡協議会災害対策準備金管理規定（案）」を策定した。

合わせてこの「管理規定」を埼玉博連会則や緊急時相互支援検討委員会設置要綱に位置付けるため「埼玉県博物館連絡協議会会則（改正案）」および「埼玉県博物館連絡協議会緊急時相互支援検討委員会設置要綱（改正案）」を作成した。

「災害時ネットワークの構築」については文保協や埼玉史協とも協議を続け、次

年度以降の検討課題とした。また、災害発生時から実際のレスキュー活動に至るまでのフローチャートも含めた「文化財レスキュー実施要項」の作成も次年度の検討課題とした。

(2) 情報収集

文化財レスキュー活動の先行事例として「千葉県博物館協会」の「基金管理規定」や「博物館資料救済活動実施要領（案）」について調査・分析し、今年度の検討課題の参考とした。

(3) 研修会の実施について

名 称：平成 27 年度文化財レスキュー・防災研修会

日 時：平成 28 年 2 月 18 日(木) 13:00～16:00

テーマ：茨城県常総市の水害と文化財レスキュー

共 催：埼玉県文化財保護協会、埼玉県地域史料保存活用連絡協議会

会 場：県立歴史と民俗の博物館 講堂

参加人数： 46 名

以上

【資料 11～2】

平成 28 年 3 月 23 日

埼玉県博物館連絡協議会会長

埼玉県博物館連絡協議会
I T 運営委員会
委員長 早坂 廣人

平成 27 年度 I T 運営委員会の活動について

このことについて、下記のとおり報告いたします。

記

1. 委員会の実施日時

- 第 1 回 平成 27 年 6 月 9 日 (火) 14:30～16:00
- 第 2 回 平成 27 年 11 月 12 日 (木) 14:30～16:00
- 第 3 回 平成 28 年 2 月 19 日 (金) 14:30～16:00

2. 平成 27 年度の委員構成

委員長	富士見市立難波田城資料館	早坂 廣人	西部地区
委員	さいたま市立博物館	菊地 慶徳	南部地区
委員	羽生市立郷土資料館	高鳥 邦仁	東・北部地区
委員	県立自然の博物館	木山加奈子	秩父地区
委員	県立歴史と民俗の博物館	川上由美子	事務局

事務局：県立歴史と民俗の博物館（企画担当）

3. 活動報告

- (1) 埼博連ホームページの情報更新について
 - ・平成 27 年度の総会・役員会資料を掲載した。(5 月)
 - ・平成 27 年度加盟館園ガイドマップを掲載した (8 月)
 - ・西部ブロック博物館催し物案内を掲載した (12 月)
 - ・
- (2) SNS の導入について
 - ・加盟館園向けの SNS アンケートの実施 (6 月)
 - ・アンケート結果の集計と分析 (11 月)
 - ・課題の整理 (2 月)

以上

【資料 12～ 1】

緊急時相互支援検討委員会委員名簿（任期：平成 27・28 年度）

平成 28 年度委員

委員	県立歴史と民俗の博物館	田中 裕子	事務局
委員	県立文書館	永野 貴之	南地区
委員	埼玉県平和資料館	猪熊 孝文	西地区
委員	鉢形城歴史館	石塚 三夫	北地区
委員	宮代町郷土資料館	横内 美穂	東地区

事務局：歴史と民俗の博物館（企画担当、資料調査活用担当）

【資料 12～2】

IT 運営委員会委員名簿（任期：平成 27・28 年度）

平成 28 年度委員

委員	富士見市立難波田城資料館	早坂 廣人	西地区
委員	さいたま市立博物館	菊地 慶徳	南地区
委員	羽生市立郷土資料館	高鳥 邦仁	東・北地区
委員	県立自然の博物館	半田 宏伸	秩父地区
委員	県立歴史と民俗の博物館	西口 正純	事務局

事務局：歴史と民俗の博物館（企画担当）